



# 兼商ヨーバルフロアブル

農林水産省登録 第24318号

1/5

令和6年3月26日現在

## 適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釀倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テトラニリプロールを含む農薬の総使用回数
キャベツ	コナガ アオムシ ネキリムシ類 ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ アブラムシ類 アザミウマ類	200倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパー <sup>ポット</sup> 1冊(約30×60cm、使用土壤約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	
	キスジノミハムシ バッタ類	2500倍					
	コナガ アオムシ ウワバ類 ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ シロイチモジョトウ オオタバコガ アブラムシ類 アザミウマ類	2500～5000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
はくさい	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ アブラムシ類 ネキリムシ類	200倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパー <sup>ポット</sup> 1冊(約30×60cm、使用土壤約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	4回以内(灌注は1回以内、散布及び無人航空機散布は合計3回以内)
	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ シロイチモジョトウ オオタバコガ カブラハバチ類 ア布拉ムシ類	2500～5000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
		25倍	1.6ℓ/10a			無人航空機による散布	
ブロッコリー	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ アブラムシ類 ネキリムシ類	200倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパー <sup>ポット</sup> 1冊(約30×60cm、使用土壤約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	
	アザミウマ類	2500倍					
	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ シロイチモジョトウ ウワバ類 ア布拉ムシ類	2500～5000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
だいこん	キスジノミハムシ	2500倍					無人航空機による散布
	アオムシ コナガ ハイマダラノメイガ	2500～5000倍	100～300ℓ/10a			散布	3回以内
非結球あぶら な科葉菜類 (こまつなを除く)	コナガ	5000倍			2回以内		2回以内



アグロ カネショウ株式会社

<https://www.agrokanesho.co.jp/>



# 兼商ヨーバルフロアブル

農林水産省登録 第24318号

2/5

令和6年3月26日現在

## 適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釀倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テトラニリプロールを含む農薬の総使用回数	
こまつな	コナガ	200倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパー <sup>ポット</sup> 1冊(約30×60cm、使用土壤約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	定植前日～定植当日	1回	灌注	3回以内(灌注は1回以内、散布は2回以内)	
		2500～5000倍	100～300ℓ/10a					
いちご	ハスモンヨトウ オオタバコガ	2500倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内	
	コナジラミ類							
ねぎ	アザミウマ類 ハモグリバエ類	200倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパー <sup>ポット</sup> 1冊(約30×60cm、使用土壤約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	4回以内(灌注は1回以内、散布及び無人航空機による散布は合計3回以内)	
	シロイチモジヨトウ	定植当日						
	クロバネキノコバエ類	2500倍	100～300ℓ/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布		
	シロイチモジヨトウ ネギコガ	2500～5000倍						
	ハモグリバエ類 アザミウマ類	25倍	1.6ℓ/10a			無人航空機による散布		
レタス 非結球レタス	ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ	200倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパー <sup>ポット</sup> 1冊(約30×60cm、使用土壤約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	4回以内(灌注は1回以内、散布及び無人航空機による散布は合計3回以内)	
	ハモグリバエ類 アブラムシ類							
	ウワバ類 ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ	2500～5000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布		
	ハモグリバエ類 アブラムシ類	25倍	1.6ℓ/10a			無人航空機による散布		
えだまめ	マメシンクイガ ハスモンヨトウ	5000～10000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
	ウコンノメイガ コガネムシ類 ツメクサガ	5000倍						
	マメシンクイガ ハスモンヨトウ	50倍	1.6ℓ/10a					
	32～64倍	0.8ℓ/10a						
	ウコンノメイガ コガネムシ類 ツメクサガ	50倍	1.6ℓ/10a			無人航空機による散布		
	32倍	0.8ℓ/10a						
だいす	マメシンクイガ ハスモンヨトウ	5000～10000倍	100～300ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内	
	ウコンノメイガ コガネムシ類 ツメクサガ	5000倍						
	マメシンクイガ ハスモンヨトウ	50倍	1.6ℓ/10a					
	32～64倍	0.8ℓ/10a						
	ウコンノメイガ コガネムシ類 ツメクサガ	50倍	1.6ℓ/10a			無人航空機による散布		
	32倍	0.8ℓ/10a						
さやいんげん さやえんどう ほうれんそう	ハスモンヨトウ	2500～5000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
		5000倍						
		50倍	1.6ℓ/10a			無人航空機による散布		
さといも	ハスモンヨトウ	50倍	1.6ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	無人航空機による散布	2回以内	



アグロ カネショウ株式会社

<https://www.agrokanesho.co.jp/>



# 兼商ヨーバルフロアブル

農林水産省登録 第24318号

3/5

令和6年3月26日現在

## 適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釗倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テトラニリプロールを含む農薬の総使用回数
未成熟とうもろこし	オオタバコガ アワノメイガ ツマジロクサヨトウ	5000倍 50倍	100~300ℓ/10a 1.6ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布 無人航空機による散布	3回以内
なす	ハスモンヨトウ オオタバコガ ハモグリバエ類 アブラムシ類 コナジラミ類	200倍	25mℓ/株	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	4回以内(灌注は1回以内、散布は3回以内)
	ハスモンヨトウ オオタバコガ ハモグリバエ類 アブラムシ類	2500～5000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
	コナジラミ類 アザミウマ類	2500倍					
トマト ミニトマト	ハモグリバエ類 アブラムシ類 コナジラミ類	200倍	25mℓ/株	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	4回以内(灌注は1回以内、散布は3回以内)
	ハスモンヨトウ オオタバコガ ハモグリバエ類 ア布拉ムシ類	2500～5000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
	トマトキバガ コナジラミ類 アザミウマ類	2500倍					
ピーマン	アブラムシ類 コナジラミ類	200倍	25mℓ/株	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	3回以内(灌注は1回以内、散布は2回以内)
	オオタバコガ ア布拉ムシ類	2500～5000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
	コナジラミ類	2500倍					
きゅうり	ハモグリバエ類 ア布拉ムシ類 コナジラミ類	200倍	25mℓ/株	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	3回以内(灌注は1回以内、散布は2回以内)
	ハスモンヨトウ ウリノメイガ ハモグリバエ類 ア布拉ムシ類	2500～5000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
	コナジラミ類 アザミウマ類 ウリハムシ	2500倍					
メロン	ハモグリバエ類 ア布拉ムシ類 コナジラミ類	200倍	25mℓ/株	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	3回以内(灌注は1回以内、散布は2回以内)
	ウリノメイガ ハモグリバエ類 ア布拉ムシ類	2500～5000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	
	アザミウマ類 コナジラミ類	2500倍					
すいか	ア布拉ムシ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類	200倍	25mℓ/株	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	3回以内(灌注は1回以内、散布は2回以内)
	ハスモンヨトウ オオタバコガ ウリノメイガ ハモグリバエ類 ア布拉ムシ類	2500～5000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	
	コナジラミ類 アザミウマ類	2500倍					



アグロ カネショウ株式会社

<https://www.agrokanesho.co.jp/>



# 兼商ヨーバルフロアブル

農林水産省登録 第24318号

4/5

令和6年3月26日現在

## 適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釗倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テトラニリプロールを含む農薬の総使用回数			
な し	アブラムシ類 アザミウマ類	5000倍	5000~10000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内			
	ヒメボクトウ ハマキムシ類 シンクイムシ類									
も も 類	コスカシバ モモハモグリガ ハマキムシ類 シンクイムシ類 コガネムシ類	5000~10000倍	200~700ℓ/10a	収穫7日前まで						
	モンキクロノマイガ チャノキイロアザミウマ クビアカスカシバ ハマキムシ類 コガネムシ類									
か き	カキノヘタムシガ ハマキムシ類 ヒメコスカシバ コガネムシ類	5000倍	5000~10000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内			
	アザミウマ類									
り ん ご	ハマキムシ類 シンクイムシ類 ギンモンハモグリガ キンモンホソガ ヒメボクトウ オオタバコガ コガネムシ類	5000~10000倍	5000倍	収穫前日まで	1回	灌注	4回以内(灌注は1回以内、散布は3回以内)			
	ヨモギエダシャク									
小粒核果類 (すももを除く)	ケムシ類									
す も も	ケムシ類 シンクイムシ類									
お う と う	ハマキムシ類 ケムシ類 コガネムシ類 オウトウショウジョウバエ									
茶	チャノミドリヒメヨコバイ ナガチャコガネ成虫	2500倍	200~400ℓ/10a	摘採7日前まで	1回	灌注	3回以内			
	チャノコカクモンハマキ チャハマキ チャノホソガ ヨモギエダシャク チャノキイロアザミウマ マダラカサハラハムシ	2500~5000倍								
花 き 類 · 観葉植物	ハスモンヨトウ	200倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパー <sup>1</sup> ポット1冊(約30× 60cm、使用土壤約 1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	定植前日～ 定植当日	3回以内	散布	3回以内			
	アザミウマ類	2500倍	100~300ℓ/10a	発生初期						
	ハスモンヨトウ オオタバコガ	2500~ 5000倍								
樹 木 類	ケムシ類	5000倍	200~700ℓ/10a							



アグロ カネショウ株式会社

<https://www.agrokanesho.co.jp/>



## ⚠ 効果・薬害等の注意



- 使用前によく振ってから使用する。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 敷設液調製後はできるだけ速やかに敷設する。
- 使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節する。
- みずかけな（水掛け菜）、カラー及び花はすに使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用する。また、使用後14日間は入水しない。
- 本剤を無人航空機による敷設に使用する場合は次の注意事項を守る。
  - ① 敷設は敷設機種の敷設基準に従って実施する。
  - ② 敷設に当たっては敷設機種に適合した敷設装置を使用する。
  - ③ 敷設中、薬液の漏れのないように機体の敷設配管その他敷設装置の十分な点検を行う。
- 過度の連用をさけ、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせて使用する。
- つまみ菜・間引き菜には使用しない。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
  - ① ミツバチの巣箱及びその周辺にかかるないようにする。無人航空機による敷設でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しない。
  - ② 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
  - ③ 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 空容器はほ場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理する。洗浄水はタンクに入れる。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## ⚠ 安全使用上の注意



- 誤飲などのないように注意する。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
- 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体质の人は取扱いに十分注意する。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に關係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄張りや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。

治療法…該当なし

魚毒性等…使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

保管…密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼な所。



アグロ カネショウ株式会社

<https://www.agrokanesho.co.jp/>